

やないづまちリレーファイルあかべことは？

※ やないづまちリレーファイルあかべこ（以下「あかべこリレーファイル」という。）

Q1 『あかべこリレーファイル』はどのようなものですか？

『あかべこリレーファイル』は、お子さんの情報や特性について記録し、保育所・小学校・中学校・それ以上の進路へとお子さんの健康情報や成長の記録を切れ目なくつなげていくために作られました。

母子手帳は小学校入学前までの情報しか書けないものですが、その情報を小学校や中学校等につなげていく役目を果たするのがリレーファイルです。

リレーファイルは、家族での会話を増やし、新しい進路でもお子さん・保護者の方が安心して楽しく過ごせる手助けになります。

『あかべこリレーファイル』は、柳津町障がい者地域自立支援協議会 子ども部会で作成したものです。子ども部会の委員は、民生委員、保育所の先生、小中学校の先生、町の保健師、相談支援アドバイザー等で構成されています。

Q2 『あかべこリレーファイル』はどのような人を対象に活用しますか？

障がいや病気の有無にかかわらず、出生後の子どもから中学生の子どもです。なお、中学校卒業後も活用していただけます。活用するか、しないかは問いません。

Q3 『あかべこリレーファイル』は誰がつくるのですか？

基本的には、保護者が主体となって作成していきます。また、保育や教育、福祉サービスの内容については、支援者に協力をお願いしていくことになります。

Q4 『あかべこリレーファイル』は誰が保管しますか？

原則として、保護者やご本人、またはそれに変わる立場の方（後見人等）が責任を持って保管します。記載する内容は、大変重要な個人情報ですので、プライバシーの保護など十分な注意が必要です。

Q5 『あかべこリレーファイル』はすべて記入しなければならいのでしょうか？

すべての項目を記入する必要はありません。子どもの支援にとって必要と思われる項目を選択して活用します。子どもの特性を伝えたい情報に応じて、項目や内容を付け加えたり、削除したりしてもかまいません。子ども一人一人特性は異なりますので、オリジナルティも大切です。

Q6 『あかべこりレーファイル』はどんなことに役立ちますか？

『あかべこりレーファイル』は支援をつないでいくためのツール（道具）です。『あかべこりレーファイル』を整理していくことで、これまでどのような支援を受けてきたのか、どのような支援を必要としているのか、新たに関わる支援者に情報を伝えやすくなり、新しい相談機関に行くたびに同じことを何度も初めから説明しなくてすむようになります。

また、教育の場においては『個別の指導計画』や『個別の教育支援計画』を作成する上での重要な情報源となります。『あかべこりレーファイル』は子どもの支援に関わる人たちと情報を共有することに役立ちます。

Q7 『あかべこりレーファイル』はいつから作成したらいいのでしょうか？

記入開始に決まった時期はありません。柳津町では、平成 30 年 4 月より全対象者に配布いたします。保護者の方が「子どもの特性を周囲の人に理解してもらいたい」「子どもにとって必要な支援を継続して行ってもらいたい」と思われた時に『あかべこりレーファイル』を活用しはじめることが望ましいと考えられます。

必ずしも過去にさかのぼって記入する必要はありませんが、小さい頃のエピソードが支援の手がかりとなることもあります。無理のない範囲で記入して下さい。

Q8 エピソード記録にどんなことを書いたらいいのでしょうか？

子どもが初めて体験したことやできるようになったこと、家族旅行や学校行事などの成長の過程を記録します。子どもの様々な成功体験や失敗経験が、後々の支援の手がかりとなることもあります。「こうしたら、うまくできた」など支援のポイントが記録されると大変参考になります。

アルバム風に用紙に写真を貼って、記録を残すなど工夫してみてもいいかもしれません。

Q9 パソコンで入力して作成していきたいのですが、どうしたらいいのでしょうか？

「スペースが狭くて書きづらい」「子どもの特性に合わせてアレンジしたい」という方には、パソコンを使って整理していくことをお勧めします。柳津町のホームページに Word 版の用紙が掲載されていますので、ダウンロードしてご活用下さい。



○問い合わせ先

柳津町役場 町民課 住民福祉班

電話 0241-42-2118